

第一種 型式認証から始まる「レベル4」飛行

レベル4飛行とは

第一種型式認証を取得すると「レベル4」飛行ができるようになります。「レベル4」飛行とは「有人地帯における目視外での自律飛行」を指します。

ドローンのレベル4飛行で、新たな「空の物流社会」が構築されます。



ドローン物流による「ラストワンマイル」の実現

2024年問題がはじまり、ドローン物流のニーズが高まっています。イームズロボティクスは「安心・安全」に活用いただくための品質を意識し開発を進めています。

レベル4飛行によりラストワンマイル配送を行うことができるようになります。これまでは離島間、山間部など人のいない場所での物資輸送(レベル3飛行)がドローン物流の中心でしたが、これからはドローンが市街地上空を飛び、より多くのお客様のもとへ荷物をお届けできるようになります。



新型機種は耐候性にも優れ、安全性や品質にもこだわっている

レベル4飛行 現在の課題

第一種型式認証を取得しても、いきなり都市部上空で運用することは、今はまだできません。

最初のうちは比較的人口の少ない地域から数十～数百時間にもおよぶ膨大なフライト実績を積み上げていく必要があります。

こうして安全性が確認できてから、徐々に人の多い地域へとステップアップしていく計画です。



都市部をドローンで飛び交う未来まで、もう少し

